



2026年3月期 第2四半期（中間期）

決算説明資料

共同印刷株式会社（証券コード：7914）

2025年11月10日

- 01 決算概要
- 02 通期業績見通し
- 03 appendix

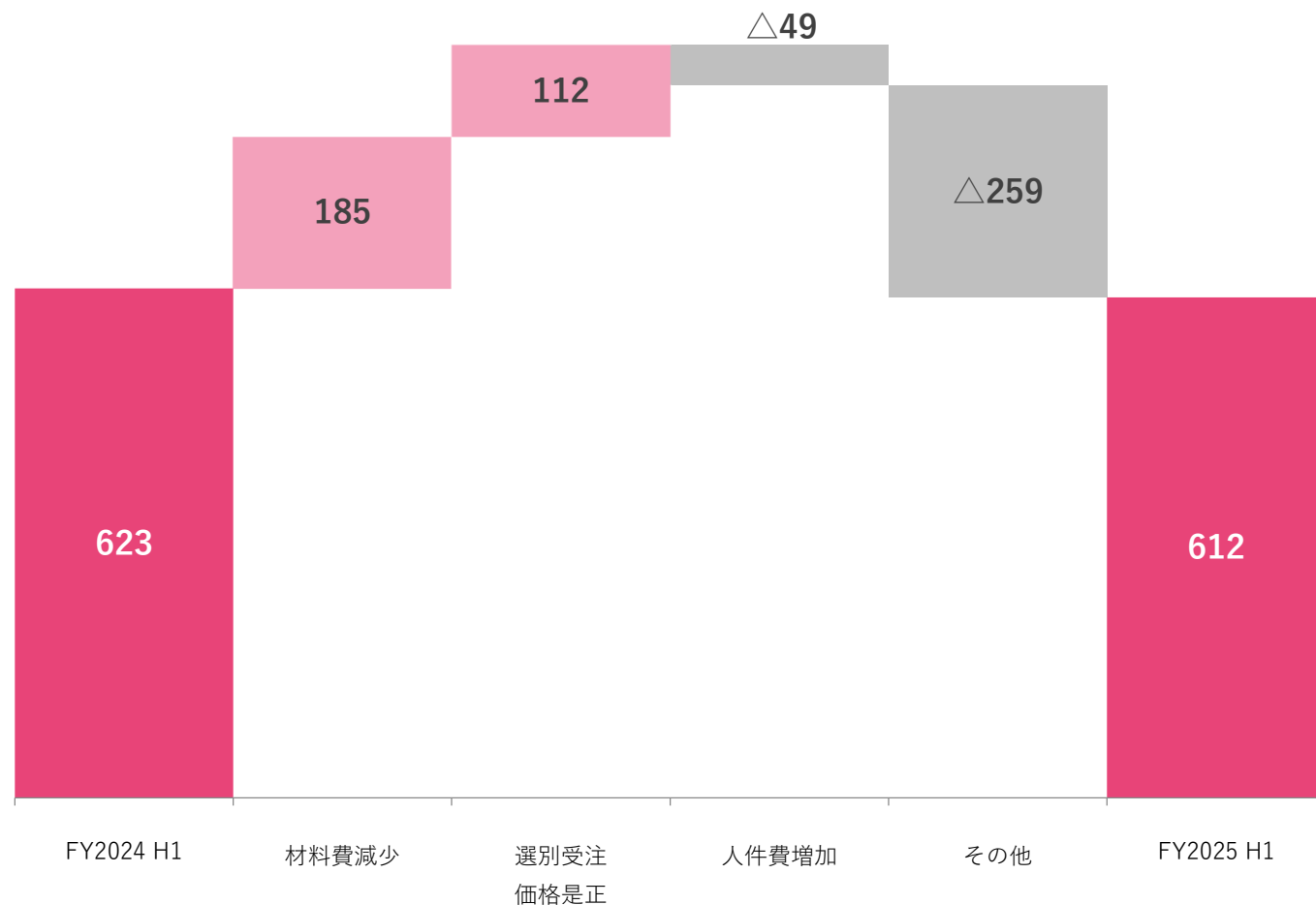
01

決算概要

- ✓ 全体では減収となったが、価格是正や選別受注の取り組みが進展したため、営業利益は前年同期並み
- ✓ 政策保有株式の売却もあり、中間純利益は前年同期から増加

	(百万円)	2025年 3 月期 H 1 実績	2026年 3 月期 H 1 実績	前年同期比	(増減率)	2026年3月期 H 1 業績予想	(達成率)
売上高		48,183	47,601	△581	(△1.2%)	49,500	(96.2%)
[内訳] 情報コミュニケーション		15,899	15,183	△716	(△4.5%)	16,000	(94.9%)
情報セキュリティ		15,298	15,079	△219	(△1.4%)	16,000	(94.2%)
生活・産業資材		15,959	16,235	+275	(+1.7%)	16,500	(98.4%)
その他		1,024	1,102	+78	(+7.7%)	1,000	(110.3%)
営業利益		623	612	△11	(△1.8%)	700	(87.4%)
[内訳] 情報コミュニケーション		△446	△442	+3	(-)	△400	(-)
情報セキュリティ		1,162	628	△533	(△45.9%)	950	(66.1%)
生活・産業資材		465	681	+216	(+46.4%)	700	(97.4%)
その他（調整分含む）		△558	△254	+303	(-)	△550	(-)
経常利益		918	1,003	+85	(+9.3%)	1,000	(100.4%)
親会社株主に帰属する中間純利益		870	1,351	+481	(+55.3%)	1,100	(122.9%)

(百万円)



✓ **選別受注・価格是正**

- ・売上高は減少したが、不採算案件の選別受注や価格是正で利益は増加

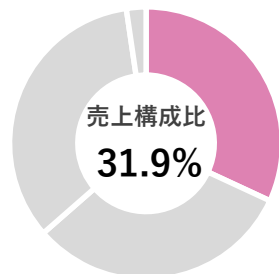
✓ **人件費増加**

- ・苫小牧工場閉鎖による人員減はあったが、賃上げにより全体として増加

✓ **材料費減少、その他**

- ・材料費は、紙媒体減に伴い減少。
- ・その他は、外注費が情報コミュニケーション部門の注力領域である店頭販促やIRの伸長による企画制作、その他の一時的な要因もあり増加。

情報コミュニケーション部門

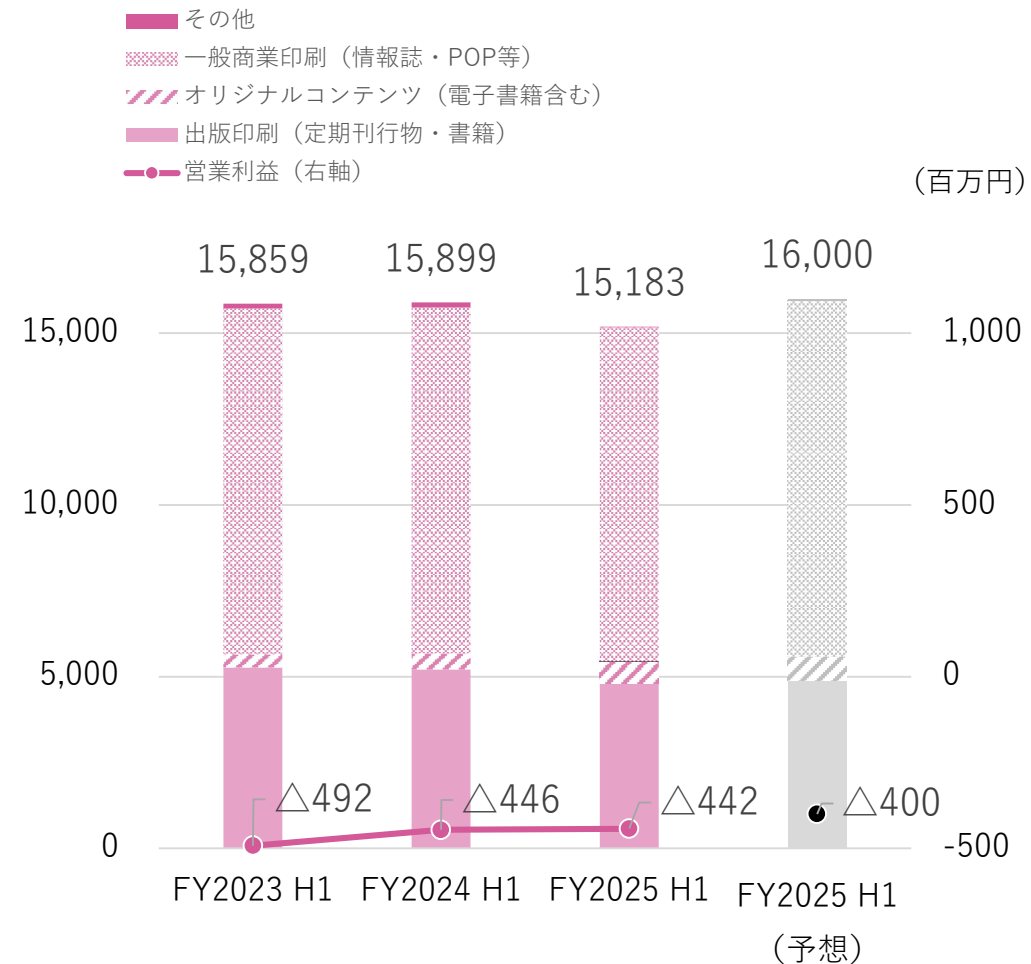


	単位：百万円	前年同期比	業績予想比
売上高	15,183	(△4.5%)	△5.1%
営業損益	△442	(—)	(—)

● H1の主なポイント

- ・ 出版印刷、一般商業印刷とも紙媒体案件において収益性を重視した選別受注を実施。売上高は減少したが、営業損失は前年同期並みとなった。
- ・ 業績予想に対しては、出版印刷市場の縮小が想定以上に加速したため、売上高・営業利益とも下回り。
- ・ Q3以降もIRなどの注力領域や高収益案件の受注獲得に取り組むとともに、一層の業務効率化による利益率改善を図る。

● 品目別売上高増減イメージ



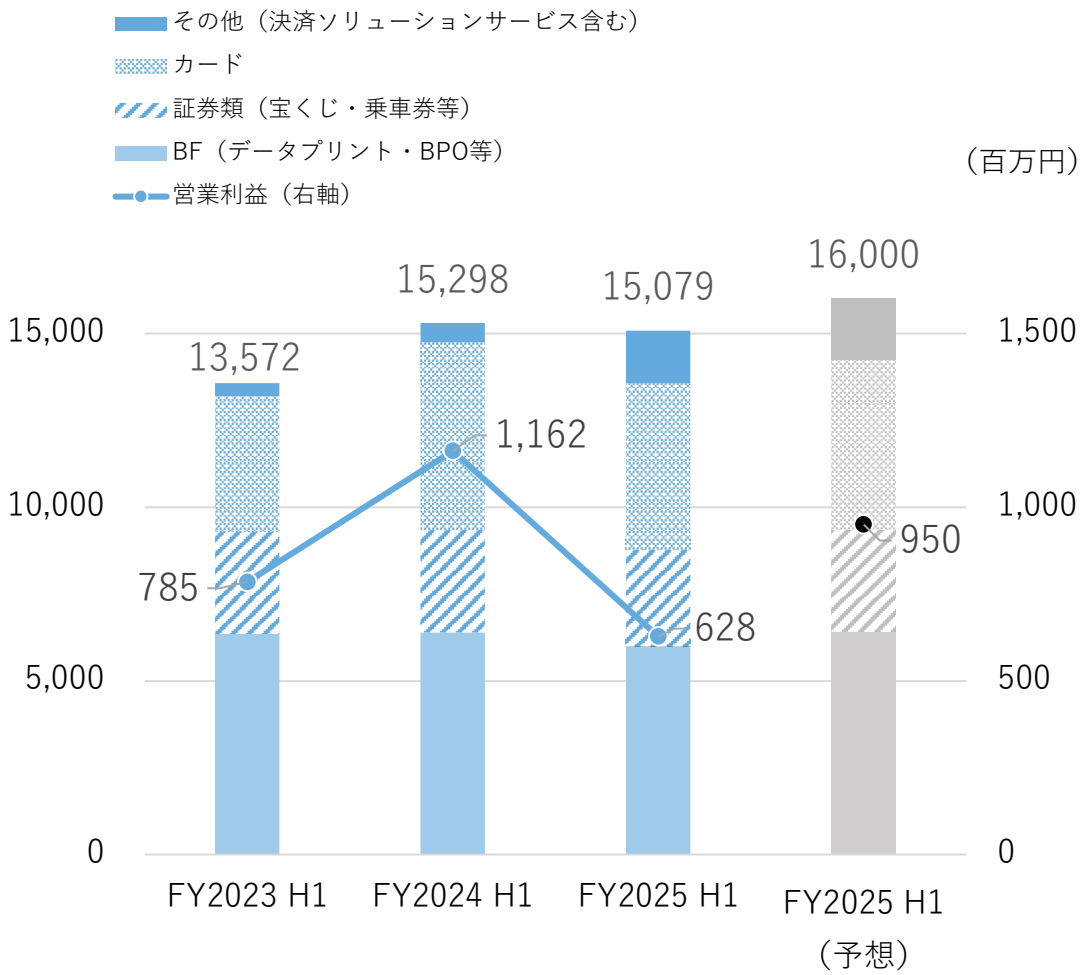
情報セキュリティ部門



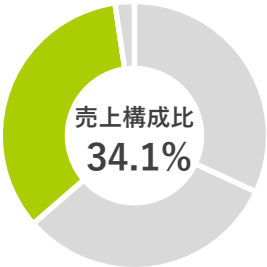
● H1 の主なポイント

- ・ 情報サービス B P O と乗車券類が増加。既存 B P O は前年同期にあった一過性案件の減少を想定していたほか、見込んでいた他案件も受注に至らず、減少した。
- ・ 交通系 I C カードや証券関係の一部製品が下期にスライドしたことも影響し、全体では、売上高・営業利益とも前年同期を下回り。業績予想に対しても未達となった。
- ・ Q 3 以降も好調に推移する情報サービス B P O を強化するとともに、既存 B P O 案件を着実に確保する。また、既存事業の生産性向上に一層注力する。

● 品目別売上高増減イメージ



生活・産業資材部門

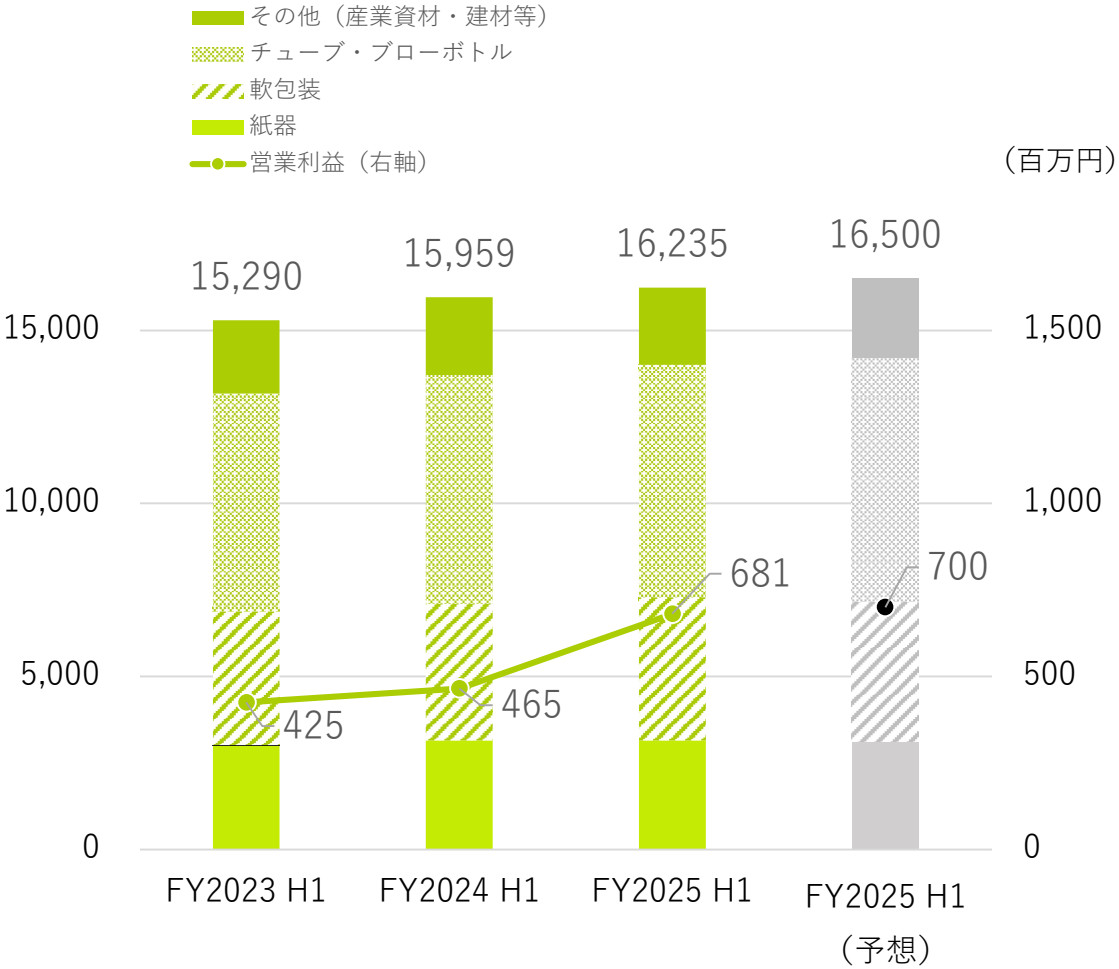


	単位：百万円	前年同期比	業績予想比
売上高	16,235	(+1.7%	△1.6%
営業利益	681	(+46.4%	△2.6%

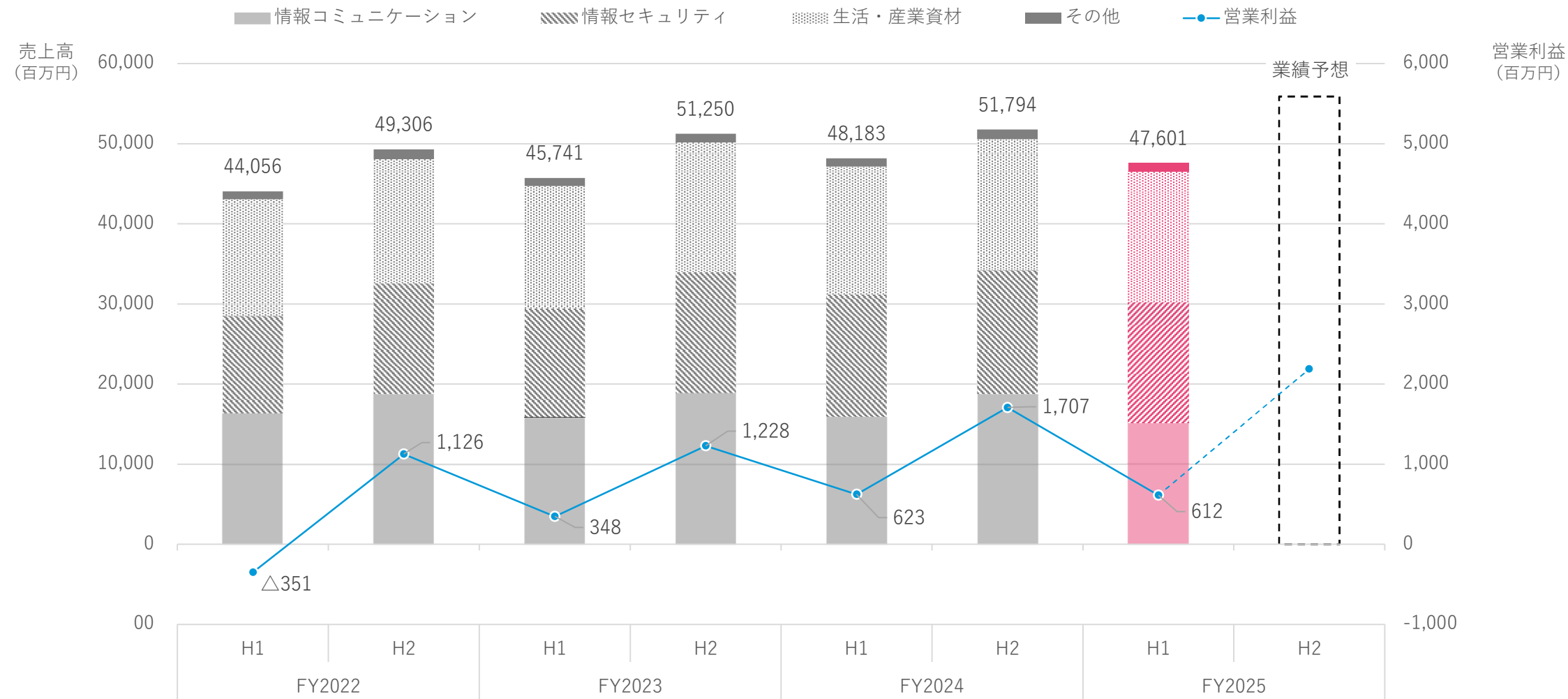
● H1 の主なポイント

- ・ 売上高は、総じて順調に増加。紙器はラップカートンが伸長、チューブは前年同期並み。軟包装は即席めん向け包材などが増加した。売上高の伸長と価格是正の進展により、営業利益も増加した。
- ・ 業績予想に対しては、チューブが海外を中心に伸びを欠いたが、概ね想定通りに推移。
- ・ Q3以降も効率化投資や価格是正による利益率向上を図りながら、売上拡大に取り組む。

● 品目別売上高増減イメージ



業績は各セグメントとも下期偏重の傾向にあり、今期も同様に推移する見通し。



02

通期業績見通し

情報セキュリティ部門の一部製品が下期にスライドしたほか、
生活・産業資材部門で概ね堅調な進捗が見込まれるため、通期予想は据え置き。

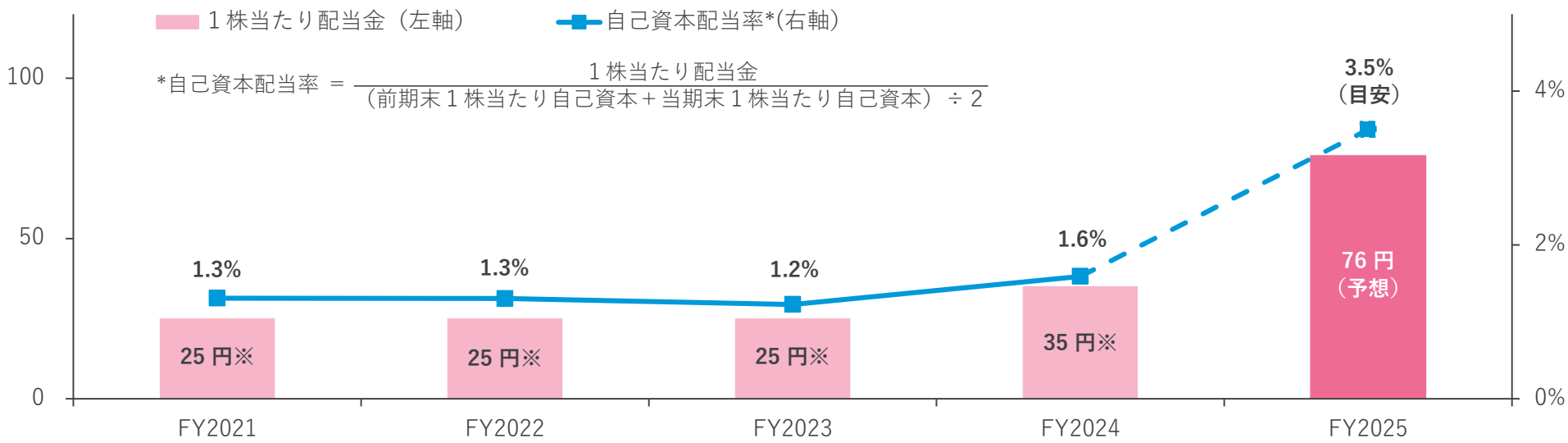
		2026年 3 月期 H 1				通期 (2025年5月15日公表)	
(百万円)		前年同期 実績	実績	業績予想 (達成率)	前年実績	業績予想 (H1実績 進捗率)	
売上高		48,183	47,601	49,500 (96.2%)	99,977	103,500	(46.0%)
[内訳]	情報コミュニケーション	15,899	15,183	16,000 (94.9%)	34,658	34,800	(43.6%)
	情報セキュリティ	15,298	15,079	16,000 (94.2%)	30,755	32,500	(46.4%)
	生活・産業資材	15,959	16,235	16,500 (98.4%)	32,331	34,000	(47.8%)
	その他	1,024	1,102	1,000 (110.3%)	2,231	2,200	(50.1%)
営業利益		623	612	700 (87.4%)	2,331	2,800	(21.9%)
[内訳]	情報コミュニケーション	△446	△442	△400 (－)	△176	△150	(－)
	情報セキュリティ	1,162	628	950 (66.1%)	1,954	2,250	(27.9%)
	生活・産業資材	465	681	700 (97.4%)	1,211	1,650	(41.3%)
	その他 (調整額含む)	△558	△254	△550 (－)	△657	△950	(－)
経常利益		918	1,003	1,000 (100.4%)	2,746	3,250	(30.9%)
親会社株主に帰属する 当期 (中間) 純利益		870	1,351	1,100 (122.9%)	3,310	3,850	(35.1%)

●2026年 3 月期の配当について

以下の方針に基づき、* **1 株あたり76円**（中間38円、期末38円）の見通しで、**当初予想から変更なし**

*2025年 4 月 1 日付 普通株式 1 株につき 4 株の割合による株式分割実施後

- ・ 企業価値の向上と安定的な株主還元を実現するため、自己資本配当率（**DOE**）**3.5%**を目安とします。
- ・ 中間、期末いずれも、期初に（前期末自己資本＋当期末予想自己資本）÷ 2 × 1.75% を目安に配当予想。
- ・ 期初予想どおりの配当支払いを基本とするが、業績、財務状況等の推移を勘案し、
中間配当＋期末配当がDOE 3.5%を大きく下回ることのないよう配当を行います。



※株式分割実施後の割合で参考記載

03

appendix

(百万円)	2025年 3 月期 期末	2026年 3 月期 中間期末	前期末比	主な増減内容
流動資産	47,780	47,473	△306	・ 受取手形、売掛金及び契約資産 △1,566 ・ 棚卸資産 + 1,164
固定資産	78,388	78,981	+592	・ 有形固定資産 △1,714 ・ 投資有価証券 + 2,059
資産合計	126,168	126,454	+285	—
流動負債	26,262	32,256	+5,993	・ 1 年内償還予定の社債 + 5,000 ・ 1 年内返済予定の長期借入金 + 1,811
固定負債	36,992	29,379	△7,613	・ 社債 △5,000 ・ 長期借入金 △3,009
負債合計	63,255	61,635	△1,620	—
株主資本	53,059	53,807	+ 748	・ 利益剰余金 + 708
その他の包括利益累計額	9,833	10,992	+ 1,159	・ その他有価証券評価差額金 + 1,419
非支配株主持分	20	18	△1	—
純資産合計	62,913	64,819	+1,905	—
負債純資産合計	126,168	126,454	+285	—
自己資本比率	49.8%	51.2%	+ 1.4P	—

(百万円)	2025年 3 月期 H 1	主な要因	2026年 3 月期 H 1	主な要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,393	・ 減価償却費 + 2,932	1,500	・ 減価償却費 + 2,840 ・ 棚卸資産の増加 △1,205
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,229	・ 有形及び無形固定資産の取得による支出 △2,192 ・ 投資有価証券の売却による収入 + 1,075	△1,048	・ 有形及び無形固定資産の取得による支出 △2,049 ・ 投資有価証券の売却による収入 + 1,232
フリーキャッシュ・フロー	1,164	—	451	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	199	・ 短期借入金の純増減額 + 2,009 ・ 長期借入金の返済による支出 △1,248 ・ 配当金の支払額 △377	△1,922	・ 長期借入金の返済による支出 △1,253 ・ 配当金の支払額 △619
現金及び現金同等物に係る換算差額	32	—	△30	—
現金及び現金同等物の増減額	1,395	—	△1,501	—
現金及び現金同等物の期首残高	10,944	—	12,184	—
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	—	99	—
現金及び現金同等物の期末残高	12,339	—	10,782	—

当資料は、投資家の皆さまに共同印刷株式会社への理解を深めていただくことを目的として、

経営や財務に関する情報を提供するものです。

以下の点をご了解の上、ご覧ください。

- ・業績予想などは、作成時点において当社が予測する範囲内で作成したものです。
- ・記載の業績予想などとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでいることをご承知ください。
- ・投資に関する決定は、投資家ご自身のご判断において行うようお願いします。
- ・掲載内容については細心の注意を払っていますが、不可抗力によって情報に誤りを生ずる可能性もありますので、ご注意ください。

【お問い合わせ先】

共同印刷株式会社 コーポレートコミュニケーション部

E-mail : koho@kyodoprinting.co.jp

Webサイト : <https://www.kyodoprinting.co.jp/>